

TCフォーラムの「TC」とは
Taxpayer Charter(納税者憲章)
の頭文字を意味しています。

2004年6月10日発行
第18号

発行
「納税者の権利憲章」をつくる会
(TCフォーラム)事務局
〒164-0003 東京都中野区東中野
四一二一十
電話 〇三(三三六四)五六七一

ピーター・セップ氏

全米納税者ユニオン副会長特別講演 盛大に開催される

さる五月一日(土曜)、東京・四谷のスクワール麹町において、TCフォーラム第一二回定時総会・特別講演会が開催された。本年は、全米納税者ユニオン(National Taxpayers Union, NTU)副会長、ピーター・セップ氏(Pete J. Sepp)をワシントンから招き、「アメリカにおける納税者権利保障法制定の経緯と現状——日本における納税者権利憲章制定の必要性——」と題して記念講演をして頂いた。会場は二百余名の参加者で満席となり、三時間におよぶセップ氏の熱意溢れる講演に感動の拍手が続いた。

世界の納税者運動を支えてきたセップ氏を歓迎する

北野弘久代表委員(日本大学名誉教授)の歓迎の言葉

開会に先立ち、TCフォーラム代表委員の北野弘久(日本大学名誉教授)から、ピーター・セップ氏の略歴とわが国の納税者運動との関係について紹介があった。北野氏は、セップ氏夫妻が遠路ワシントンから我々のために訪日されたことに感謝の言葉を述べ、併せて、奥様共々日本の旅を楽しんでいただきたいと結んだ。

北野代表は紹介の中で、セップ氏がアメリカで三万人と最も多い会員を擁する納税者団体(NGO)の実質的な事務局長(専従職員)であること、アメリカの納税者権利保障法制定運動・内国歳入庁(IRS)改革運動を草の根から支えてきた運動家であることを紹介した。また北野代表は昨年、不公平な税制をただす会が中心となって「日本納税者連盟(JTA)」を結成し、世界納税者連盟(WTA)に加盟したが、そのきっかけとなったのはセップ氏の働きかけであったことを紹介した。

公衆電話ボックスからはじまった全米納税者ユニオン(NTU) 登壇するとセップ氏は「はじめまして」と日本語で挨拶し、TCフォーラムや日本納税者連盟の招きにより講演する機会を得たことを感謝すると述べるとともに、たまたま日本において首相を含む政治家が年金未加入・未納事件が報道されていることを取り上げ、アメリカにおいて納税者の権利が叫ばれるようになった背景にも政治家の脱税事件があったことを紹介した。

続いてセップ氏は、全米納税者ユニオン(NTU)の歴史について、NTUは一九六八年、一台の公衆電話ボックスの中から始まったと、奇妙な紹介をした。当時、民主党・共和党の二大政党のどちらの党も、納税者の権利について配慮がないとして不信感を抱いた一人の青年(ジエームス・デビッドソン氏)が電話ボックスに入り、納税者の権利を掲げてたたく市民団体がなくか電話帳を探した。しかし、そのような組織は全く存在していなかった。そこで何人かの仲間呼びかけ、自分達で納税者団体をつくることを決意したのである。NTUは結成当時(一九七〇年)、僅か二千人の会員だったが、納税者の権利を訴えたことが多くの市民の共感をよび、一九九〇年には二〇万人の会に発展し、現在は三十五万人の個人会員を擁する全米最大の納税者団体となっている。

三度の納税者権利保障法を勝ち取ったアメリカの経緯

はじめにセップ氏は、アメリカにおいても長い間、内国歳入庁(IRS)が課税システムの一翼を担っており、時の権力に阿る行政機関であったと述べた。

そのため第一次納税者権利保障法制定に至る道のりは決して容易なものではなかったと指摘した。NTUは納税者・国民に対する包括的な権利を要求した運動は遅々として進まなかった。この間、一九八五年に計画された「内国歳入庁の近代化は大失敗に終わり、財政赤字が続いたこと」もあって、全米各地で税務職員による厳しい調査・徴税が行われた。NTUはそうした納税者の受けた事件の数々を、専門家にも協力してもらって収集し、その実態を知らせるキャンペーンを展開した。その結果、ようやく一九八七年、議会で公聴会が開催されることになった。しかし、NTUや議会の動きに対し、内国歳入庁、とりわけ内国歳入庁労働組合の猛烈な反撃があった。

内国歳入庁の反撃に勝利し第一次納税者権利保障法制定

しかしNTUは、数百万の市民にダイレクトメールを送ったり、トーク・ラジオを活用したり、他の人権擁護団体と提携をしたりして議会へのロビー活動を展開した結果、ついに一九八八年二月、第一次納税者権利保障法が制定されたのである。

第一次納税者権利保障法によって規定された主な納税者の権利条項は、①パンフレット「納税者としてのあなたの権利」を調査時に交付すること、②調査の様子を録音する権利を保障すること、③専門家を代理人として選任した場合、調査は直ちに中止されること、④差押さえ財産に一定の制限を設けること、⑤税務オンブズマンに納税者救済命令権を付与すること、などである。

一方、第一次納税者権利保障法の問題点としては、①税務オンブズマンの活動にばらつきが見られたこと、②調査手続や徴税手続に法の規定どおり実施されない点があったこと、③納税者に対する救済制度が経済的な面で不十分であったことなどであった。NTUは直ちにこれらの不十分な点を補完するため第二次納税者権利保障法制定の運動に取り組んだ。再び、税務職員からひどい目にあつた納税者の情報を収集し、トーク・ラジオなどを使ってキャンペーンを展開した。

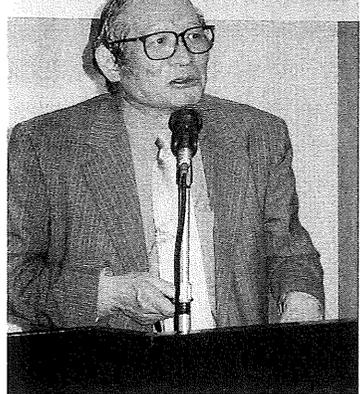
勢いに乗って第二次納税者権利保障法制定

第二次納税者権利保障法は一九九六年七月、第一次納税者権利保障法制定から八年後に制定された。第二次納税者権利保障法では、①税務オンブズマン制度を納税者権利擁護官制度に改め、納税者救済命令権を拡大したこと、②税務職員による違法な徴税活動に対する損害賠償請求額の上限を10万ドルから100万ドルに引き上げたこと、③税務訴訟で納税者が勝訴した場合に保障される弁護士費用を時間当たり75ドルから110ドルに引き上げたこと、④利子税や加算税のからまない猶予期間を延長したこと、などである。

一方、第二次納税者権利保障法の問題点としては、①善意の配偶者に対し不公正な取扱が行われていること、②多くの納税者にとって訴訟を選択する道が閉ざされていること、③内国歳入庁の組織や風土を変える方向が見えないこと、などであった。NTUは再び次の改革に向けてキャンペーンを開始した。

(以下2面につづく)

長ビーター・セップ氏



▲「セップ氏はアメリカの納税者権利保障法制定運動の生き証人」と、歓迎の挨拶をする北野弘久TCフォーラム代表委員

悪早セップ氏

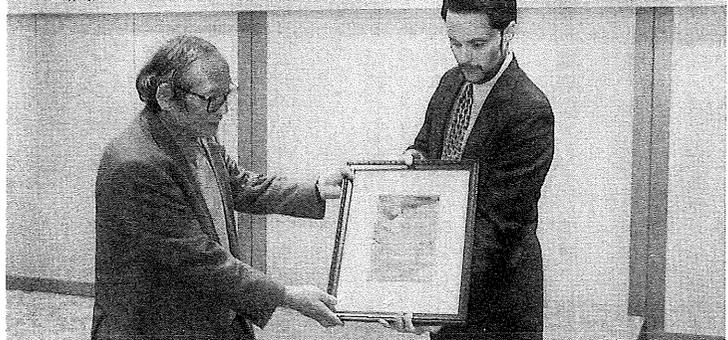


▲「全米納税者ユニオン(NTU)は公衆電話のボックスの中から生まれました」と、NTUの歴史を紹介するピーター・セップ氏



▲「納税者の権利を保護する運動は、現代における最も重要な人権運動です。共にたたかきましょう!」と分かりやすい英語で語りかけるセップ氏。

特別講演 悪早セップ氏



▲セップ氏から日米の納税者運動の交流を祈念して、全米納税者ユニオンから日本のTCフォーラムにワシントンの桜を描いた額縁が送られた。

2004年度TCフォーラム役員名簿

区分	氏名	所属等
代表委員	北野弘久	日本大学名誉教授
	大江志乃夫	茨城大学名誉教授
運営委員	植松省自	税理士
	浦野広明	立正大学法学部教授・税理士
	粕谷晴江	税理士
	金井清吉	弁護士
	河野先	第一経理事務所・税理士
	湖東京至	関東学院大学法科大学院教授・税理士
	里見秀俊	全建総連税金対策部長
	谷山治雄	税制経営研究所所長
	田村秀樹	全国保険医団体連合会事務局
	鶴見祐策	弁護士
	富山泰一	不公平な税制をただす会事務局長・税理士
	谷野洋	全国商工団体連合会常任理
	高谷真	全国青年税理士連盟会長・税理士
	新国信一	税経新人会全国協議会理事長・税理士
益子良一	神奈川大学講師・税理士	
長谷川博	朝日大学客員教授・税理士	
吉本貢	税理士	
事務局長	湖東京至	関東学院大学法科大学院教授・税理士
事務局員	吉本貢	税理士
	同 川村浩達	全建総連
	同 牧伸人	全商連
	同 田村秀樹	全国保険医団体連合会
	同 長谷川博	朝日大学客員教授・税理士
	同 益子良一	神奈川大学講師・税理士
会計監事	宮本浩一	税理士
	同 坂内直治	税理士

内国歳入庁長官を民間人から、第三次納税者権利保障法の制定

第三次納税者権利保障法制定運動は、内国歳入庁の組織を根底から変えることであった。NTUは一八人で構成される「内国歳入庁改革国家委員会のメンバー」に委員を送るとともに、税務職員の職権濫用事件について議会の公聴会で証言させる運動を行った。トーク・ラジオやテレビ等のマスメディアも活用し、ついに一九九八年七月、第三次納税者権利保障法、別名、内国歳入庁再編改革法が制定されたのである。

第三次納税者権利保障法では、①民間人を含めた九名の委員からなる「内国歳入庁監視委員会」を新設したこと、②内国歳入庁長官をはじめ民間の人材を積極的に登用したこと、③挙証責任を納税者側から内国歳入庁側に転換させたこと、④善意の配偶者に対する救済措置を拡大したこと、⑤裁判手続を見直したこと、など第一次及び第二次納税者権利保障法の内容を大幅に拡充したものととなっている。

一方、第三次納税者権利保障法の問題点としては、①「内国歳入庁監視委員会」がなかなか開かれなかったこと、②納税者権利擁護官の救済命令が、しばしば受け入れられないことがあること、③裁判所に「ベルリンの壁」があり、納税者の権利が理解されないこと、④市民による「納税者救済市民委員会」の権限について、その境界線が不明確なこと、などである。さらに現在、州の税務当局に対する納税者の権利の問題が浮上しており、各州においても納税者権利保障法を制定する運動を展開している。

納税者の権利獲得運動は現代の人権運動―世界の仲間と共に―

セップ氏は、納税者に権利を保障することにより様々な悪弊が起るとする批判に対し、次のように指摘した。

- ① 納税者に権利を保障すると、「税収が落ち込む」というが、これは誤り。明確な証拠がある。
 - ② 納税者に権利を保障すると、「納税者がいいかげんな申告をする」というが、これは誤り。
 - ③ 納税者に権利を保障すると、「納税者に過剰なサービスをする」というが、これは誤り。
 - ④ 納税者に権利を保障すると、「納税者が税制を悪用する」というが、これは誤り。税制はすでに十分に悪用されないよう整備されている。
 - ⑤ 政党・党派を超えた共同運動を起すこと。そして、納税者の権利保護運動には次の点が肝要であるとした。
 - ⑥ 税務当局とたたかう納税者の人間性・魂を引き出すこと。
 - ⑦ 法律を制定することで変化が生まれること。
- セップ氏は最後に、納税者の権利獲得運動は現代において最も重要な人権運動のひとつであり、この運動にかかわっているあなたは人権運動の中心にいることを認識してもらいたいとし、しかし、あなた方は一人ではなく、アメリカの納税者団体や世界の納税者団体と共に学び、共に活動していることを忘れないでもらいたい。そして、必ずやこの運動が成功をおさめることを確信していただきたい、と結んだ。

三時間にわたる講演を終えたあと、北野弘久代表委員が英語で謝辞を述べ花束の贈呈を行った。セップ氏からは日米の納税者運動の交流を記念して、ワシントンの桜を描いた額が北野代表に贈呈された。

TCフォーラムこの一年の活動報告

二〇〇三年四月一日～二〇〇四年三月三十一日

- 1、二〇〇三年五月一日 定時総会・シンポジウム開催（於、主婦会館）。シンポジウムの講師に塩崎潤先生（元大蔵省主税局長）を招き、「なぜ納税者権利憲章は必要か」と題して講演していただく。他に、二〇〇三年一月に出版された『世界の納税者権利憲章』取材のウラ話を、アメリカ、韓国、ドイツ、イギリス、スペインについてそれぞれの担当者が報告した。

なお、当日一六人の衆参両院議員からメッセージを頂戴した。

- 2、二〇〇三年六月二日 塩崎潤先生と面談。塩崎潤先生から自民党税調や政府税調にも申し入れをすべきとの強い示唆をいただいた。直ちに事務局会議を開催し、与党税調に対する具体的な要請方法等について打合せを行った。

- 3、二〇〇三年六月二日 「TCフォーラム中央情報」第一六号（定時総会・シンポジウム特集）発行。

- 4、二〇〇三年六月十六日 衆議院議員・塩崎泰久先生と面談。与党税調に対する申し入れの作戦を検討。

- 5、二〇〇三年七月一日 自民党税調会長・相沢英之衆議院議員と議員会館において面談。与党税調で議論していただくよう要請。

- 6、二〇〇三年七月二八日 政府税制調査会・石弘光会長と主税局応接室において面談。政府税調として納税者権利保護法をとりあげるよう要請。

- 7、二〇〇三年七月二八日 日本経団連に要請。税制グループ長・阿部泰久氏と面談。意見交換を行うとともに、日本経団連として納税者権利保護法の必要性を提言するよう要請。

- 8、二〇〇三年八月四日 日本商工会議所に要請。産業政策部長・坪田秀治氏と面談。意見交換を行うとともに、同会議所の税制改正要望書に納税者権利保護法の必要性を提言するよう要請。

- 9、二〇〇三年八月五日 「TCフォーラム中央情報」第一七号（政府税調会長等への要請行動の経過報告）発行。

- 10、二〇〇三年八月二四日 自治労連「地方税における納税者権利憲章（素案）」作成。

- 11、二〇〇三年九月二日 日本経団連「平成一六年度税制改正に関する提言」発表。はじめて、提言の中に「納税者の権利の尊重」の一項が入る。

- 12、二〇〇四年三月一六日 自民党税制調査会・甘利明衆議院議員に議員会館において面談。与党税調として納税者権利保護法制定を議論していただくよう要請。自民党税制調査会会長・津島雄二衆議院議員、同調査会小委員長・町村信孝衆議院議員、民主党・海江田万里衆議院議員、民主党衆議院財務金融委員会理事・島聡議員、同長妻昭議員、同中塚一宏議員などに要請。いずれも秘書と面談。

- 13、二〇〇四年三月一九日 公明党衆議院財務金融委員会理事・上田勇議員と議員会館において面談。

- 14、二〇〇四年三月 五月一五日の定時総会・シンポジウムの特別講演に全米納税者ユニオン・ピーター・セップ氏を招聘する件につき準備開始。